

外国株式取引に関する説明書 新旧対照表(2024年7月15日)

今回の主な変更事項のみを以下に記載しております。その他、各市場に共通する記載事項を統合し、市場毎の記載項目等の平仄を合わせる等の所要の変更を行っておりますので、詳細は「外国株取引に関する説明書（2024/07/15改定版）」をご確認ください。

新(改定後)	旧(改定前)	備考																										
<p>6～7 ページ</p> <p>(3) NISA 預りの場合のコーポレートアクション対応可否等について</p> <p>コーポレートアクションの種類により、NISA 預りでの管理が継続されるか一般預りに払い出されるかが決まります。下表をご確認ください。また、税務上の取扱いが明確でない権利が付与された場合も、NISA 口座上での簿価の調整処理ができないため、一般口座に払い出されます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">コーポレートアクションの種類</th> <th style="text-align: center;">NISA 口座対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>銘柄コード変更</td> <td style="text-align: center;">可</td> </tr> <tr> <td>株式分割（非整数倍含む）</td> <td style="text-align: center;">可</td> </tr> <tr> <td>株式併合（非整数倍含む）</td> <td style="text-align: center;">可</td> </tr> <tr> <td>無償割当（非整数倍含む） （新 NISA）</td> <td style="text-align: center;">親株：可、子株：不可</td> </tr> <tr> <td>無償割当（非整数倍含む） （旧 NISA）</td> <td style="text-align: center;">親株：可、子株：可</td> </tr> <tr> <td>株式配当</td> <td style="text-align: center;">可</td> </tr> <tr> <td>スピノフ（新 NISA）</td> <td style="text-align: center;">親株：不可、子株：不可</td> </tr> <tr> <td>スピノフ（旧 NISA）</td> <td style="text-align: center;">親株：可、子株：不可</td> </tr> <tr> <td>ライツイシュー</td> <td style="text-align: center;">可</td> </tr> <tr> <td>企業買収</td> <td style="text-align: center;">不可（※1）</td> </tr> <tr> <td>資本返還</td> <td style="text-align: center;">不可</td> </tr> <tr> <td>上場廃止</td> <td style="text-align: center;">不可（※2）</td> </tr> </tbody> </table>	コーポレートアクションの種類	NISA 口座対応	銘柄コード変更	可	株式分割（非整数倍含む）	可	株式併合（非整数倍含む）	可	無償割当（非整数倍含む） （新 NISA）	親株：可、子株：不可	無償割当（非整数倍含む） （旧 NISA）	親株：可、子株：可	株式配当	可	スピノフ（新 NISA）	親株：不可、子株：不可	スピノフ（旧 NISA）	親株：可、子株：不可	ライツイシュー	可	企業買収	不可（※1）	資本返還	不可	上場廃止	不可（※2）	<p>新設</p>	<p>NISA 預りの場合のコーポレートアクションの対応可否を追記いたしました。</p>
コーポレートアクションの種類	NISA 口座対応																											
銘柄コード変更	可																											
株式分割（非整数倍含む）	可																											
株式併合（非整数倍含む）	可																											
無償割当（非整数倍含む） （新 NISA）	親株：可、子株：不可																											
無償割当（非整数倍含む） （旧 NISA）	親株：可、子株：可																											
株式配当	可																											
スピノフ（新 NISA）	親株：不可、子株：不可																											
スピノフ（旧 NISA）	親株：可、子株：不可																											
ライツイシュー	可																											
企業買収	不可（※1）																											
資本返還	不可																											
上場廃止	不可（※2）																											

新(改定後)		旧(改定前)		備考
<p>※1 株式のみでの買取の場合は NISA 預りが継続されます。現金のみ、現金+株式での買取の場合は継続できません。</p> <p>※2 OTC 市場への移行は NISA 預りが継続されます。ハノイ UpCom 市場（未上場公開株取引市場）への移行の場合は継続できません。</p> <p>(注1) 当社では NISA 口座内で処理できないコーポレートアクションが予定されていて、現地権利落ち日が国内祝日の場合、現地約定日が現地権利付最終売買日となる NISA 預りのご注文は受け付けることができません（一般預りではお取引いただけます。）。</p> <p>(注2) 複数の預り区分（特定・一般・NISA）で残高があり、合計で 1 株となる場合は、NISA 預りの残高が一般預りへ払い出された上で、1 株となります。</p>				
25 ページ		34～35 ページ		
X シンガポール株式取引		X シンガポール株式取引		
(2)取引方法		(3)取引方法		
価格	指値のみ（成行注文を受け付けておりません。） 通常取引セッション開始までは前営業日の取引所終値（クロージングプライス）を基準値として、開始後は取引所においてリアルタイムで更新される"直近値"を基準値として、上限は基準値から高いほうに 30 ティック（ETF は 10%）まで、下限は基準値から低いほうに 30 ティック（ETF は 10%）までの範囲（以下「注文可能レンジ」といいます。）の注文が、当社の取次先にて有効な注文として取り扱われます。	価格	指値のみ	シンガポール証券取引所の主に ETF の注文可能レンジ、取引単位、呼値に関する記載を左記のとおり改めました。
取引単位	原則 100 株以上 100 株単位（ETF は原則 1 口以上 1 口単位）	取引単位	原則 100 株以上 100 株単位 1 注文の上限数量：500 単位	

新(改定後)		旧(改定前)		備考												
	1 注文の上限数量：500 単位（ETF は 1 注文の上限数量：10,000 口）		(ETF は 1 注文の上限数量：10,000 口)													
呼値	株価によって異なります。当社ウェブサイトをご覧ください。お取扱店までお問い合わせください。 ETF は銘柄毎に異なり、0.01 または 0.001 シンガポールドルとなります。銘柄毎の呼値はお取扱店にご確認ください。	呼値	株価によって異なります 呼値は当社ウェブサイトにてご確認ください、各取扱店までお問い合わせください													
<p>(3)取引ルール</p> <p>発注のタイミングおよび株式・ETF の別により、以下の基準値に基づく注文可能レンジ内の注文が当社の取次先にて有効な注文として取り扱われます。</p> <p>(a) 基準値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>注文発注のタイミング</th> <th>基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常取引セッション開始まで</td> <td>前営業日の取引所終値</td> </tr> <tr> <td>通常取引セッション開始後</td> <td>リアルタイムで更新される直近値</td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) 注文可能レンジ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>注文可能レンジ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>株式</td> <td>基準値±30 ティック</td> </tr> <tr> <td>ETF</td> <td>基準値±10%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ティックとはマーケットにおける株価変動の最小単位のことです。</p> <p>なお、一旦取引所に受け付けられた注文は当日中は有効となります。</p> <p>(2024 年 7 月)</p>		注文発注のタイミング	基準値	通常取引セッション開始まで	前営業日の取引所終値	通常取引セッション開始後	リアルタイムで更新される直近値	種別	注文可能レンジ	株式	基準値±30 ティック	ETF	基準値±10%	<p>(5)取引ルール</p> <p>シンガポール証券取引所においては、直近値から一定範囲を超える価格の注文は受け付けられないルールがあります。</p> <p>指値できる価格範囲は、通常取引セッション開始までは前営業日の終値(クロージングプライス)を基準値として、開始後はシンガポール証券取引所によってリアルタイムで更新される"直近値"を基準値として、上限は基準値から高いほうに 30 ティックまで、下限は基準値から低いほうに 30 ティックまでとなります。</p> <p>※ティックとはマーケットにおける株価変動の最小単位のことです</p> <p>上記価格範囲を越えた注文は、シンガポール証券取引所にて受け付けられず失効します。</p> <p>ただし、一旦取引所に受け付けられた注文は、その後、基準価格が変動して上記価格範囲から乖離しても当日中は有効となります。</p> <p>(2024 年 3 月)</p>		シンガポール証券取引所の主に ETF の注文可能レンジに関する記載を左記のとおり基準値±10%と改めました。
注文発注のタイミング	基準値															
通常取引セッション開始まで	前営業日の取引所終値															
通常取引セッション開始後	リアルタイムで更新される直近値															
種別	注文可能レンジ															
株式	基準値±30 ティック															
ETF	基準値±10%															